

Rhythm of Green

石橋文化センター情報誌 みどりのリズム

June, 2021
Vol.383

6



久留米市美術館 本館2階

デビュー50周年記念 萩尾望都 ポーの一族展 6月13日まで開催

新型コロナウイルス感染拡大の状況により、掲載内容に関して変更場合があります。またご来園の際は、マスク着用や手洗い・消毒、咳エチケットなどにご協力をお願いします。なお、発熱や体調不良の場合は、来園をお控えくださいますようお願いいたします。



石橋文化センター
ISHIBASHI CULTURAL CENTER

2階

デビュー50周年記念 萩尾望都 ポーの一族展

—6月13日(日)

福岡県大牟田市出身の萩尾望都(はぎお・もと、1949-)は、1969年のデビュー以来、日本のマンガ界を牽引してきました。本展では、1972-76年に発表された代表作「ポーの一族」と40年振りに再開された新シリーズを中心に、「トーマの心臓」をはじめとする名作の数々によって、彼女の半世紀の軌跡をたどります。本展のための描き下ろしや執筆の舞台裏の紹介、宝塚歌劇花組公演「ポーの一族」の夢のステージの再現など、本展ならではの魅力がいっぱいです。



イグアナの娘 1992年



ユニコーン 2018年(「ポーの一族」新シリーズ)

入館料 一般800円(600円)、シニア600円(400円)、大学生500円(300円) 高校生以下無料

※()内は15名以上の団体料金、シニアは65歳以上 ※上記料金にて、石橋正二郎記念館もごらんいただけます。

※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳又は療育手帳等の交付を受けている方とその介護者1名は、一般個人料金の半額(400円)となります。

※前売券はチケットぴあ、ローソンチケット取り扱い店などにて500円で販売(Pコード685-528、Lコード86701)

作品紹介



「ピカデリー7時」は、「ポーの一族」シリーズの11番目のエピソードで、『別冊少女コミック』1975年8月号で発表されました。この原画は、その予告として描かれ、同誌前月号に掲載されたものです。画面の外には『「ピカデリー7時」仮題』と鉛筆で書かれており、予告の時点でタイトルはまだ決まっていなかったことがわかります。

さて、ロンドンに現れたエドガーとアラン。エドガーは右手をポケットに入れ、アランはバラの花束を手にしています。それぞれの左手は何て表情豊かに描かれていることでしょうか。背中合わせの二人の目は、それぞれ別の方向に向けられています。明かりのともった窓の描写は、この場面にリズムを与えています。

ところで、「7時」は朝の7時なのでしょうか、夜なのでしょうか?

ピカデリー7時 1975年(「ポーの一族」シリーズ)

没後70年 南薫造

7月3日(土)——8月29日(日)

明治末から昭和にかけて日本洋画壇の中心作家として活躍した南薫造(1883—1950)は、東京美術学校卒業後にイギリスへ留学して清新な水彩画に親しみ、帰国後は陽光を捉えた明るい色彩とのびやかな筆致による油彩画を次々と発表、晩年は郷里の広島県呉市安浦町で愛する瀬戸内海の風景を描きました。本展は、現存する代表作とイギリス留学時代の水彩画などを含む、南薫造の画業の全貌を九州で初めて紹介するものです。



南薫造《六月の日》1912年 東京国立近代美術館蔵

入館料 一般1,000円(800円)、シニア700円(500円)
大学生500円(300円) 高校生以下無料

※()内は15名以上の団体料金、シニアは65歳以上

※上記料金にて、石橋正二郎記念館もごらんいただけます。

※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳又は療育手帳等の交付を受けている方とその介護者1名は、一般個人料金の半額(500円)となります。

※前売券はチケットぴあ、ローソンチケット取り扱い店などにて600円で販売(Pコード685-529、Lコード86702)

美術講座

■ テーマ：「色彩画家・南薫造の生涯と芸術」

日 時／7月31日(土) 14:00—15:30(開場13:30)
講 師／藤崎綾氏(広島県立美術館主任学芸員)
会 場／石橋文化会館2F小ホール

※聴講無料、要申込

※氏名、住所、電話番号を記入の上、ハガキかファクスでお申し込みください。
7月20日(火)必着。

申込先／久留米市美術館・美術講座係

〒839-0862 久留米市野中町1015 FAX0942-39-3134

南薫造について

1883(明治16)年、広島県呉市安浦町に生まれる。1902年、東京美術学校西洋画科に入学、岡田三郎助に師事する。1907年、イギリスに留学。帰国後、白樺社主催「南薫造・有島壬生馬滞欧記念絵画展」で滞欧作を発表。自画自刻自摺による版画制作にも取り組んだ。その後は、一貫して官展(文展・帝展・新文展・日展)の中心的な画家として活躍。1932年から1943年まで東京美術学校教授も務め、多くの後進を育てた。1944年に郷里に疎開、1950年、郷里にて死去。



《自画像》1907年 東京藝術大学蔵

2階 | 予告

開館5周年記念 九州洋画Ⅱ：大地の力—Black Spirytus

9月18日(土)——12月12日(日)

久留米市美術館は今年11月19日、開館5周年を迎えます。

本展は、開館記念展「2016 ふたたび久留米からはじまる。九州洋画」につづく第二弾となります。なので、そのタイトルも「九州洋画Ⅱ」。

今回は、大地に根をはるような力強さを内に秘めた魅力的な作品群を、明治から今日までご覧いただきます。



片多徳郎《霹靂》1919年 北海道立近代美術館蔵

石橋正二郎記念館 SHOJIRO ISHIBASHI MEMORIAL MUSEUM

郷里久留米の発展に尽くした石橋正二郎の歩みやひととなり、正二郎によって建設寄贈された石橋文化センター60余年の歴史を紹介しています。

同館展示室は、5つのコーナーに分かれています。「年譜コーナー」では、正二郎の事績を年譜で紹介しています。

「壁面展示コーナー」では、正二郎の事績を〈事業・文化・美術〉の3つの視点から紹介しています。

「マルチメディアコーナー」では、久留米市美術館の前身である石橋美術館の展覧会図録や石橋文化センターの記録などを、画像・映像・音声によるマルチメディア資料として公開しています。

「映像視聴コーナー」では、正二郎の生涯や事業、美術活動を映像で紹介しています。

一番奥に設置されたコーナーが「石橋コレクション絵画展示」で、正二郎と美術のかかわりを紹介しています。ここは、年に数回展示替えをしており、現在は第15期「正二郎と九州洋画1」というテーマで、正二郎が1956年の石橋美術館開館を機に九州の洋画家たちの作品を充実させたことを紹介しています。



古賀春江《海水浴の女》1923年
石橋財団アーティゾン美術館蔵

入館料 一般・シニア・大学生300円、高校生以下無料

休館日 月曜日

※久留米市美術館主催展覧会のチケットをお持ちのお客様は無料で入館できます。

※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳又は療育手帳等の交付を受けている方とその介護者1名は、一般個人料金の半額(150円)となります。



久留米市美術館
KURUME CITY ART MUSEUM
ISHIBASHI CULTURAL CENTER

〒839-0862 久留米市野中町1015番地 TEL: 0942-39-1131 FAX: 0942-39-3134

URL: <https://www.ishibashi-bunka.jp/kcam>

開館時間/10:00~17:00(入館は16:30まで) 休館日/月曜日、ただし、8/9は開館。6/15~7/2展示替えの為休館いたします。

f <https://www.facebook.com/KurumeCityArtMuseum/>

t <https://twitter.com/KurumeCityArtMu>

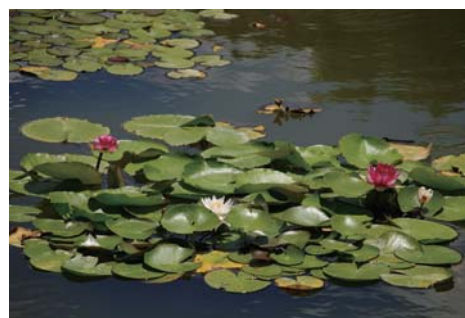


スイレンが見ごろを迎えます。

梅雨空を彩る花としてアジサイやハナショウブが思い浮かびますが、スイレンもこの時期の花です。

スイレンは、アジアからヨーロッパにかけて広く分布する水生植物です。水位が安定している池や沼で育つ宿根草です。丸い葉には切れ込みが一つ入り、水面に浮かぶように広がります。花は水面、もしくは水面からやや上で開花します。フランスの画家クロード・モネが描いた一連の絵画「睡蓮」も有名です。花の色は白、ピンク、黄色、紫など様々あり、昼下がりの頃に開花します。文化センターでは主に花しょうぶ園の池の中や睡蓮の池で見ることができます。

新型コロナウイルス感染症に備えた「新しい生活様式」では、心と身体の健康を保つため、身体を動かしたり、屋外や自然の中でリフレッシュすることも大切です。梅雨の晴れ間にお客様同士の間隔を保ち、マナーと思いやりを持ちながら、ゆっくりと園内散策をお楽しみください。



ホールイベント情報 HALL EVENT INFORMATION

新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、催事の中止・延期など変更の場合がございます。詳細は主催者・問合せ先へご確認ください。

石橋文化ホール		市民ギャラリー「みゅ〜ず」	
20(日) 15:00	TAKAHIRO 単独ソロ公演 問 藤木高裕 tel.090-3327-3424(藤木) 自由席 大人1,500円 高校生以下1,000円	12(土) 13(日) 10:00 - 17:00	第40回建築家展 問 ASJ久留米スタジオ(大石建設株式会社) tel.0942-45-0014 無料
石橋文化会館小ホール		19(土) 20(日) 10:30 - 17:00 10:30 - 16:00	うさぎのマークのランドセル 早期割引・ご予約・販売会 問 株式会社大隈カバン店 tel.092-535-1122 無料
11(金) 18:30	ひとりミュージカル久留米公演 問 株式会社オフィス ピースオブドリーム tel.090-2485-3979 自由席 3,000円 DVDプレゼント付チケット 6,000円 ※H.P「ひとりミュージカル」で検索。事前申込	※上記内容は5月20日現在のものです。また、上記内容については主催者が会場の申し込みをされる際に申し出られたものであるため、主催者の都合により変更になる場合があります。	
27(日) 14:00	ピアノ発表会 問 春田裕子 tel.080-5712-7273 無料	主 公益財団法人久留米文化振興会主催事業 問 お問合せ	

ちょっと気軽にスタインウェイ&KAWAI EX

次回開催は未定です。
開催等のご案内はホームページでお知らせいたします。

チケット情報 TICKET INFORMATION

久留米市美術館		石橋文化センター窓口	
7/ 3(土)~ 8/29(日) 10:00 - 17:00	没後70年 南薫造 問 久留米市美術館 tel.0942-39-1131 前売り600円 ※販売期間 文化センター窓口 6/3~7/2 情報サテライト 6/3~8/29	販売中	久留米くるくるチケット グルメ、お土産、体験など、久留米が誇る自慢のメニューを、お得に安心して楽しめるチケット。情報サテライト(久留米シティプラザ2階)でも販売中。 問 久留米くるくるチケット事務局 tel.0942-27-5616 4枚綴り2,000円 (500円券×4枚)
※上記内容は5月20日現在のものです。販売状況により、お取扱いできない場合もございますので、何卒ご了承ください。 ★石橋文化センター情報サテライト(久留米シティプラザ2階)でも文化事業チケットを取り扱っております。(TEL0942-36-3080 10時~18時、臨時休館あり)		最新情報はコチラ⇒ 	



石橋文化センター&久留米市美術館メンバーシップ「みゅ〜ず」 新年度入会のご案内

★昨年度ご入会いただいた皆様は、有効期限が6/30までになっております。ご継続手続きがお済みでない方は、ぜひ継続をご検討ください。

会費	特典 (一部)
ミュージアム会員 3,700円(継続会員2,000円)	★久留米市美術館の主催事業(展覧会)年間フリーパス[同伴者1名無料]
スタンダード会員 1,500円(継続会員700円)	★ミュージアムコンサートの鑑賞無料[会場: 石橋文化ホール、年5回程度]
	★展覧会を楽しむ講座の聴講無料[会場: 石橋文化ホール]
	※いずれもミュージアム会員のみ。スタンダード会員は割引料金にてお楽しみいただくことができます。

有効期間 2021年4月1日から2022年3月31日まで(受付中) ※継続会員は、手続完了日から2022年3月31日まで

みゅ〜ず事務局(お問合せ・申込先) TEL0942-33-2271 FAX0942-39-7837 (9:00~17:00、月曜休)

公式YouTubeチャンネルをはじめました ～こんな時だからこそ お家で石橋文化センター～

今年の1月に開設した石橋文化センター公式YouTubeチャンネル。

園内の草花や生き物たち、久留米市美術館のコレクションなどを映像で紹介しています。

第1弾《ローズガーデンコンサート編》、第2弾《ワクワクドキドキ編》と大好評の石橋文化センターのスペシャルムービー。

第3弾は、ツバキやさくら、チューリップなどが芽吹く春をテーマに《いのちの春 ～光と風～》と題し動画を制作。

今回の動画には、様々な春の魅力とともに、私たちの想いを言葉として映像に込めています。

この機会にチャンネル登録をお願いいたします。



●『バラの新苗植替え講座』配信中

バラの見頃に合わせ例年開催しているバラフェアの人気企画『バラの植え方・育て方デモンストレーション』を、石橋文化センターバラ教室講師・嘉悦隆博さんを迎え、動画でお届けします。

嘉悦さんが分かりやすく育て方を解説していますので、ご覧いただければ、皆さまもバラ博士に近づくこと間違いなしです。

ぜひ、ステキなバラをご自宅でも楽しんでください。

●出演：嘉悦隆博（石橋文化センターバラ教室講師／花伝代表）



石橋文化センター公式
YouTubeチャンネル



カフェ&ギャラリーショップ楽水亭

営業時間／10:00～17:00 場所／石橋文化センター園内 美術館東側

楽水亭は新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行い営業しています。店内の換気はもちろん、カフェではテラス席もご用意しております。安心してご来店ください。

なお、ご来店の際はマスク着用、手指消毒、混雑時の入場制限へのご協力をお願いしております。

●あじさいデザート

生菓子「あじさい」(ほうじ茶付き) …600円

生菓子「あじさい」を、ほうじ茶と一緒に楽しみください。

涼しげな見た目と白餡の甘みが梅雨の時期にぴったりです。

見頃を迎える園内のアジサイを観賞した後は、楽水亭カフェでゆったり過ごしませんか。

●楽水亭御膳

楽水亭御膳 …1,100円

カフェの「楽水亭御膳」は土日限定、数量限定の人気メニューです。

食欲が出ない時期にもおすすめの鮭の南蛮漬けをはじめ、地元の食材を使用したメニューをお召し上がりください。



※イメージです。

ミュージアムコンサート

8月12日(木) 14:00開演 石橋文化ホール

数多くの演奏実績とともに、それぞれ幅広い活躍を続ける宮田ファミリーの3人が集い、上質な音色とともに名曲をお贈りします。併せて、久留米市美術館本館2階で開催予定の展覧会「没後70年 南薫造」展をぜひお楽しみください。



宮田浩久(チェロ)



ミヤタコーヘイ(チェロ)



宮田玲子(ピアノ)

演奏予定曲

白鳥:サン・サーンス / リベルタンゴ:A.ピアソラ / ニューシネマパラダイス:エンニオ・モリコーネ 他

入場料

一般1,000円、シニア(65歳以上)700円、大学生500円 高校生以下無料

※みゆへず会員は無料もしくは割引価格でご入場できます。入場料には「没後70年 南薫造」展入館料を含みます。

チケット販売・問合せ

石橋文化センター TEL0942-33-2271/FAX0942-39-7837 (受付9:00～17:00、月曜日休館)

情報サテライト(久留米シティプラザ2階) TEL0942-36-3080 (受付10:00～18:00、臨時休館日あり)

コラム ——・ Enjoy with your five senses

6月はハナショウブが咲く季節です。ハナショウブと言え、似たような花が多い植物として有名です。ハナショウブ、アヤメ、カキツバタの花はよく似ていますし、ハナショウブとアヤメに至っては、同じ「菖蒲」という漢字が使われますので、なおさら混同してしまいます。

アヤメは4月～5月に咲く花で、カキツバタは湿地でしか育たない花です。咲く時期や、生育する場所の違いで種類を見分けることもできますが、花の大きさや色など、姿形で見分けることもできます。見分ける時の注目点は、花びらの付け根の色や模様です。一つ一つの花をじっくり観察すると、それぞれの花の個性が見分けられるようになります。

さて、群植された大規模な花壇も見応えがありますが、石橋文化センターの庭園では、足元に咲く一つ一つの花と向き合い、対話しながら、ゆっくりと散策するのがおすすめです。

広すぎず、狭すぎず、散策するのにちょうどよい広さの庭園で、野鳥のさえずり、樹々の葉音、草花の色彩、花の香り、風の匂い…そんなものを、心と身体で感じてください。

耳をすませば、目をこらせば、私たちの周りには、気づくべき豊かな世界が広がっています。

〔園内管理係 高木 亮一〕

ハナショウブ



花の付け根に黄色い筋

アヤメ



花の付け根に網目模様

カキツバタ



花の付け根に白い筋

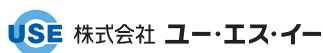
表紙イラストレーション 藤村のりこ 油彩、水彩、クレパスなど、様々な画材や技法を用いて、個展やグループ展を中心に活動。2009年度久留米市芸術奨励賞(洋画)受賞。

私たちは石橋文化センター・久留米市美術館の事業を応援します。

スペシャルパートナー



オフィシャルパートナー



※ すべての掲載催事の内容については、5月20日現在のものです。主催者等の都合により、変更になる場合もありますので、ご了承ください。 ※すべての掲載金額は、消費税および地方消費税を含む金額です。

石橋文化ホール／石橋文化会館／文化センター共同ホール

休館日 月曜日(祝日・振替休日は開館)、年末年始

開園時間 9:00～17:00 ※園内は年中無休。

交通案内 <バス> 西鉄バス①⑨②②②⑤系統 JR久留米駅より約15分、西鉄久留米駅より約5分
「文化センター前」下車 <車> 久留米インターより国道322号線へ車で約10分

駐車場 8:00～22:00 最初の2時間まで200円、以後30分ごとに100円増。

※ただし30分以内の出庫は無料。

入庫から24時間最大1,000円 ※24時間以降30分ごとに100円増

園内利用のバスは、1台500円最長1日まで。(要予約)



石橋文化センター
ISHIBASHI CULTURAL CENTER

公益財団法人 久留米文化振興会
839-0862 福岡県久留米市野中町1015番地
Tel 0942 33 2271 Fax 0942 39 7837
9:00～17:00 月曜休館(祝日は開館)
www.ishibashi-bunka.jp



石橋文化センター公式Facebook
https://www.facebook.com/ishibashibunka